

## ※ 今週のアウトLOOK (7/6～7/10)

先週ドル円は7/1に162.84円まで上昇したもののその後は下落、クロス円はレンジ内で方向感のない動きを示している通貨ペアが多いようです。

週末に発表された米国雇用統計は予想を下回っており、FRBによる利上げが後退したとの見方が強まっているようです。

今週は、米国雇用統計悪化の影響がどこまで残るのか、ドル高はそろそろ落ち着くのかこのあたりがまずはポイントとなりそうです。

先週ドル円は7/1に162.84円まで上昇したものの、木曜日には一時160円台まで下落、週末は161円台前半のまま終了しています。

米国雇用統計悪化、日銀の介入警戒感が影響しているようです。

今週はまず、このままドル高トレンドは終息に向かうのか、それとも再び163円超えを狙おうとする動きが活発化するのか、このあたりを見極める必要があります。

ドル円の予想レンジは、160円～164円です。

ユーロドルは先週1.14付近に停滞した後、週末には1.143付近まで回復しています。このまま1.16付近まで回復する動きとなるのか、まずは見極める必要があります。

ユーロ円は先週、184円付近から186円付近までのレンジ内の動きとなりました。今週はユーロドル回復の流れに乗って、このまま186円を超えて上昇するのか、レンジ内の動きがまだしばらく続いてしまうのか、このあたりが焦点となりそうです。

ユーロ円の予想レンジは、182円～186円です。

ポンドは、ポンドドルが回復トレンドに乗ってきています。ポンド円も再び217円付近のレジスタンスブレイクを狙う動きが、活発化する可能性はありそうです。

ポンド円の予想レンジは、212.5円～217.5円です。

日経225は7万円前後で停滞しています。今週、米国雇用統計悪化の影響がどのように出るのか、まずは見極めが必要のように思います。

## \* 免責事項 \*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。